



11 月はいばらき教育月間です。本校でも文化祭や学校公開など様々な行事が予定されています。この機会に実際に児童生徒の学習の様子をご覧いただければと思います。

11月の予定

3日(木)

文化祭(下特スマイルフェスタ)

「Let's enjoy! ~笑顔のまほうを今~」をスローガンにみんなが楽しめる文化祭になるよう、各学年ごと工夫を凝らした模擬店の準備を進めています。

17日(木)

第2回ふれあい教室

未就学児の方が対象になります。
小学部低学年の授業に参加する予定です。

8日(火)、9日(水)、
11日(金)

第2回学校公開

- 8日「地域に生きる～地域防災を考える」というテーマでシンポジウムを開催します。パネリストに茨城大学講師の有賀絵理様、地域防災連携協議会の委員の皆様を迎え、本校の防災教育に関する取り組みや地域防災について考えます。
- 9日、11日は、通常の授業を公開しています。
- 11日は、進路情報交換会、実習報告会も開催されています。
- 教材展示：児童生徒一人一人の特性に合わせ、学習意欲が高められるような教材教具を3日間とも展示しています。



しもとくサポート情報コーナー

今月は、授業や学校生活の中で使用している教材についてご紹介します。学校公開でもたくさん展示してありますので、ぜひご覧いただければと思います。それぞれの教材は、例えば、見やすい、使いやすい、といったことだけを狙っているのではなく、見やすくすることで、「見たい!」という意欲を引き出したり、使いやすくしたりすることで「もっと自分でやってみたい」「一人でやってみたい」などの主体的な活動につなげることを目指しています。

児童生徒の力を生かすスイッチ教材

○スイッチ教材の特徴

自分ができる動きでスイッチを押したり、引いたりすることで目の前の物(おもちゃや電化製品等)を動かすことができる。

→スイッチ教材を操作することで、今までできなかったことができるようになる。

→児童のやる気を引き出し、自信をもつことにつながる。

→周囲の児童生徒や教師とともに、喜び合うことができる。

以上の特徴をもとに、児童が今現在活用しているスイッチ教材をご紹介します。

ルーレット こちらは、モーターと電池で動くルーレットです。児童がボタンのスイッチ(市販のスイッチ)を押している間のみルーレットが回転します。ゲームをやる順番を決める時などに使用しています。クルクル回転する様子や音を楽しみながら、学級のみなどで活用しています。



参考文献 『障がいのある子の力を生かすスイッチ教材とおもちゃの改造入門』 監修 畠山 卓朗, 編著 マジカルトイボックス 2007
こちらの本は、本校の図書館にありますので、製作やおもちゃの改造に興味のある方はご覧になってみてください。

〈お問い合わせ〉 下妻特別支援学校 担当：コーディネーター 牛久
TEL 0296-44-1800 FAX0296-43-9174